

# 石川県リハビリテーションセンターニュース

## ～令和3年度事業について～

### 目次

今年度のリハビリテーションセンター事業・取組みのご案内	1
リハビリテーションに必要なAT(Assistive Technology)に関わる人材の育成	2
リハビリテーションセンター研修事業	3
難病相談・支援センター事業	4
高次脳機能障害相談・支援センター事業	5
在宅支援型住宅リフォーム推進事業のご紹介	6

## 今年度のリハビリテーションセンター事業・取組みのご案内

「石川緊急事態宣言」の対象期間（5月9日～6月13日）が延長され、予断を許さない状態が続いています。このような状況のなか、当センターでも昨年度からWeb会議システムを積極的に活用し、研修や相談支援を行ってまいりましたが、今年度も引き続きこれらの対応を行いながら、事業を進める年になると思います。

昨年度は、研修等をオンライン形式で開催することで、実技や演習等では制限を受けました。一方で、加賀から能登まで遠方からの参加や、施設での勉強会として一拠点で複数の方々への参加が見られ、平時よりも多くの参加があった研修もあり、オンライン形式のメリットを強く感じた年度でした。また、障害のある方や高齢者に対する地域からの相談支援は、一昨年度と比較し若干増加（令和2年度：1,721件、令和元年度：1,589件）しており、今後も徹底した感染防止対策のもと、求められる相談支援に取り組んでまいります。

さて、平成29年度から自立を視点においた相談およびリハビリテーション技術支援（以下、リハ支援）を的確に提供するために、各地域で医療・保健・福祉に関わる多職種がどのように連携し、充実した支援ができるかを検討する場として「在宅リハビリテーション検討会」を開催しています。今年度は、相談支援の依頼が多くなっている脳性麻痺や脊髄損傷、神経・筋疾患等の難病等の重度な障害のある方が、新しい生活様式を求められるなか、自立度の高い在宅生活を送れるよう、医療機関と在宅生活を支援するリハビリテーション専門職（以下、リハ専門職）、介護支援専門員、相談支援専門員、医師、看護師等が多職種および同職種で有益な情報伝達が行える関係づくりを目的とした検討会を予定しています。各地域の実情に応じた検討が必要のため、能登北部・能登中部、南加賀、金沢・石川中央の3地域で、オンライン形式も活用した検討会を開催しますので、多数のご参加をお待ちしています。

また、平成27年度より、石川県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡会と協働で、各地域のリハ専門職が市町事業に関与できるネットワークづくりを目的に事業を展開しています。昨年度は、オンライン形式による研修会の他、新しい生活様式を求められる各機関、各職能団体の取組みを紹介しました。取組み紹介の内容及各地域の市町事業に協力できるリハ専門職の方々の、当センターのホームページに掲載していますので、高齢者の生活不活発防止や自立支援において、地域ケア会議や訪問・通所支援、通いの場への支援等に活用いただければと思います。

これからも、感染防止対策に努めながら、相談支援や研修等の更なる充実に努めてまいりますので、ご支援ご協力をお願いします。なお、現時点で確定している研修等については、オンライン形式を活用した研修となりますが、受講者が受講環境を用意できない場合はご相談ください。

今年度の事業は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の動向を踏まえながら開催を検討していく予定です。ご案内は、随時郵送等にてお知らせするとともに、当センターのホームページの新着情報欄に更新していきます。

石川県リハビリテーションセンター ホームページ  
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/rihabiri/>

QRコード



# リハビリテーションに必要なAT(Assistive Technology)に関わる人材の育成

各地域での確かなリハ支援を提供できるよう、医療・福祉の連携、顔の見える関係づくり、地域の相談支援体制づくりを進めています。自立支援機器を用いたAT(Assistive Technology)を提供できる人材は不足しているのが現状です。このため、更なる知識・技術の向上を目指した研修事業を下記のとおり開催します。

## 1 自立支援機器情報交換連絡会

第1・2回は「外出」をテーマに、障害のある方やメーカーの協力を得て、在宅生活において外出を支援する用具や住環境のポイントを紹介し、第3回では、さまざまなタイプがある介護リフトについて、タイプごとに機能や特徴を紹介し、

回	日時	内容	対象者
1	7月13日(火) 16:30~17:30	「外出を考えよう①～玄関周りの機器や環境調整について」 協力：石川県バリアフリーアドバイザー 寺脇 則和 氏、島田 哲明 氏 等	理学療法士、 作業療法士、
2	8月10日(火) 16:30~17:30	「外出を考えよう②～自動車運転に向けた装備・部品等について」 協力：当事者、自動車装備・部品メーカー	言語聴覚士、 看護師、介護職、 福祉用具専門相談員 等
3	10月5日(火) 16:30~17:30	「リフトの種類と特徴を知ろう！」 協力：リフトメーカー(明電興産(株)、(株)ミックニライフ&オート、(株)モリトール)	

### 自立支援機器情報交換連絡会 メールアドレス登録について

登録いただいた方に、メールで臨時の情報交換連絡会や展示会等の情報をご案内しています。当センターホームページ(下記URL)に登録方法を掲載していますので、ご参照いただき、申し込みください。  
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/rihabiri/documents/documents/h31mousikomi.pdf>



## 2 自立支援機器スペシャリスト人材育成

平成29年度から、リハ専門職と福祉用具専門相談員の専門性をより高めるため、事例演習を中心とした自立支援機器の実践研修を開催しています。今年度は「コミュニケーション支援」をテーマに実践研修を開催するとともに、これまでの修了者の資質向上を目的に「車椅子編」「コミュニケーション編」のフォローアップ研修を開催します。

### (1) 実践研修

障害のある方への「コミュニケーション支援」をテーマとして、支援するための知識と技術についての講義や事例検討を行います。関わっている障害の種類は問いませんので、興味のある方、また日々の業務で悩んでいる方、ぜひ一緒に考えていく場として活用してみませんか。

回	日時	内容	講師	対象者
1	8月7日(土) 13:30~16:00	「コミュニケーション支援に役立つ知識と技術～アセスメントのための知識」 講師：神奈川県総合リハビリテーションセンター 松本 琢磨 氏(作業療法士)		理学療法士、 作業療法士、 言語聴覚士、 福祉用具専門相談員 等
2	8月19日(木) 17:00~19:00	「コミュニケーション支援に役立つ知識と技術～適合に向けての利用機器」 講師：県リハセンター職員		
3	9月30日(木) 17:00~19:00	「事例を通じた①評価と必要条件の整理【演習】」 講師：県リハセンター職員 等		
4	10月14日(木) 17:00~19:00	「事例を通じた②解決案を検討するコツ【演習】」 講師：県リハセンター職員 等		

\*研修終了後、事例レポートを提出された方に修了証を発行し、今後のフォローアップ研修の案内をいたします。

### (2) 【コミュニケーション編】フォローアップ研修

「コミュニケーション」をテーマにしたスペシャリスト人材育成・実践研修(令和元年度、令和2年度)および補装具適合・製作等実践的技術研修(平成28年度)の修了者を対象に、さらなる支援技術の向上を図る事例検討会を開催します。

日時	内容	講師	対象者
1月16日(日) 9:30~12:00	「考えよう!コミュニケーション支援の進め方【演習】」 講師：県リハセンター職員 等		実践研修等修了者 (本文参照)

### (3) 【車椅子編】フォローアップ研修

「車椅子」をテーマにしたスペシャリスト人材育成・実践研修(平成29年度、平成30年度)および補装具適合・製作等実践的技術研修(平成25年度「電動車椅子編」、平成26年度「車椅子編」、平成27年度「座位保持装置編」)の修了者を対象に、施設入所者に対する車椅子提供についてグループワーク等を行う研修を開催します。

日時	内容	講師	対象者
11月13日(土) 13:30~16:00	「施設入所者へ適切に車椅子提供するにはどうすべきか? 第2弾」 講師：(有)スマイル アドバイザー 大淵 哲也 氏(理学療法士)		実践研修等修了者 (本文参照)

# リハビリテーションセンター研修事業

## 1 リハビリテーション支援指導研修

リハ専門職やリハビリテーションに関わる職員の知識の習得と技術の向上を目指すための研修です。

### (1) リハビリテーション医療専門職研修

自粛生活による「活動性低下・社会参加減少」に対し、いつでもどこでもリスク管理に配慮しながら離床（活動性の向上）が図られるように、「フィジカルアセスメント」をテーマに各分野で専門的な取組みを行っている講師を招いて今年度の研修を開催します。

日時	内容	対象者
12月予定 13:30~16:00	「安全に積極的なリハビリテーションをすすめるために ～異変や急変の徴候を見逃さないポイント(仮)」	理学療法士、 作業療法士、 言語聴覚士 等
1月予定 16:30~18:00	「“食べる”を楽しむために ~摂食嚥下におけるフィジカルアセスメントのポイント(仮)」	
2月予定 16:30~18:00	「安全に運動を続けるために ～呼吸器系・循環器系におけるフィジカルアセスメントのポイント(仮)」	
2月予定 16:30~18:00	「社会参加を増やすために ~高齢者におけるフィジカルアセスメントのポイント(仮)」	
3月予定 16:30~18:00	「その人らしい生活を続けるために ～在宅におけるフィジカルアセスメントのポイント(仮)」	

### (2) 教職員リハビリテーション研修

教育分野ではICTを活用したGIGAスクール構想が進められています。障害のある子どもたちの能力を伸ばす活用方法、および教職員とリハ専門職の連携の必要性について学ぶ研修を開催します。

日時	内容および講師	会場	対象者
7月30日(金) 9:30~12:30	「肢体不自由の子どもたちへのリハビリテーションと AT(Assistive Technology) 活用」 講師：国立病院機構北海道医療センター 一般作業療法主任 田中 栄一氏（作業療法士） 「学びに困難さをもつ子どもたちへのAT(Assistive Technology)」 講師：日本福祉大学健康科学部福祉工学科 教授 渡辺 崇史氏（リハビリテーション工学技師）	いしかわ特別 支援学校 七尾特別支援 学校 小松特別支援 学校	小中学校・高等学校 の教員、 理学療法士、 作業療法士、 言語聴覚士 等

## 2 福祉用具研修

福祉用具に関する知識の習得や技術の向上を目指すための研修です。今年度は「移乗のためのリフト活用」をテーマに、導入事例や利用できる制度の情報、リフトを活用するための知識等について研修を開催します。ぜひ、職場の勉強会としてご活用ください。

### (1) 職場環境改善研修

日時	内容および講師	対象者
7月27日(火) 13:30~15:30	①「職場における移乗支援機器定着に向けた体制づくり」 ②「助成金制度の概要とポイント」 講師：野の花会 法人本部 楠元 寛之氏（理学療法士）	施設の管理職、 現場リーダーとなる 専門職 等

### (2) 福祉用具活用研修

回	日時	内容および講師	対象者
1	8月31日(火) 16:30~17:30	「起居移乗動作における対象者の能力の見極め方と有効なリフトの活用について(前編)」 講師：福祉技術研究所(株) 代表取締役 市川 洵氏（リハビリテーション工学技師）	理学療法士、 作業療法士、 言語聴覚士 等
2	9月7日(火) 16:30~17:30	「起居移乗動作における対象者の能力の見極め方と有効なリフトの活用について(後編)」 講師：福祉技術研究所(株) 代表取締役 市川 洵氏（リハビリテーション工学技師）	
3	9月21日(火) 16:30~17:30	「当事者から学ぶリフトを利用した移乗方法」 講師：県リハセンター職員、当事者	

\*情報交換連絡会にて、リフトの種類や機能、特徴等を紹介する機会を設けています。そちらもご参加ください。

### (3) 補装具制度研修

補装具費支給制度の概要や変更点等の情報を発信します。

日時	内容および講師	対象者
6月29日(火) 16:30~18:00	①「補装具費支給制度の概要」 ②「補装具費支給制度に関するホームページの紹介」 講師：県身体障害者更生相談所職員、県リハセンター職員	医師、理学療法士、 作業療法士、 言語聴覚士、 補装具製作者、 福祉用具専門相談員 等

## 難病相談・支援センター事業

難病相談・支援センターでは、難病患者さんご家族が抱えている病気や日常生活上の不安を軽減し、安心して療養生活を送ることができるよう、各種相談をはじめ、当事者間の交流、講演会の開催、福祉用具や住宅環境の調整等の支援を行っています。

### 1 相談支援担当者難病研修

難病患者の多様化するニーズに対応した適切な支援が提供できるよう、難病患者の相談支援担当者を対象とした研修を行います。

開催時期	内容および講師	対象者
12月予定	「遺伝性疾患患者の支援の実際～事例をとおして考える(仮)」 講師：金沢大学附属病院遺伝診療部 部長 渡邊 淳氏 (医師)	介護支援専門員、 相談支援専門員、 訪問看護師等 の支援者
1月予定	①「石川県の難病対策」 講師：県健康推進課職員 ②「難病相談・支援センターについて」 講師：県リハセンター職員 ③「神経難病の理解」 講師：国立病院機構医王病院 医師	
1月予定	①「在宅難病患者への看護」 講師：国立病院機構医王病院 難病認定看護師 ②「難病患者と家族への精神的支援」 講師：国立病院機構医王病院 ソーシャルワーカー	

### 2 専門相談

「これから症状がどう進んでいくのか不安」「どういう治療法があるのか知りたい」等、病状や治療などについて、専門医による面接相談を行っています。予約制で、日時は事前に調整します。

担当専門医等	対象疾患等
脳神経内科医	パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症/視神経脊髄炎、重症筋無力症、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、筋萎縮性側索硬化症、大脳皮質基底核変性症、筋ジストロフィー 等
免疫内科医	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎、大動脈炎症候群、悪性関節リウマチ、成人スチル病、IgG4関連疾患 等
整形外科医	後縦靭帯骨化症、特発性大腿骨頭壊死症、広範脊柱管狭窄症 等
難病医療相談員	社会福祉制度や療養に関する相談

### 3 就労相談

「自分の症状や体力にあった仕事を見つけたい」「会社に難病があることを伝えた方がよいだらうか」等、難病のある方の仕事に関する悩みや疑問を解消するために、個別相談の日を設けています。

日 時：毎月第3木曜日 13:30～15:30 【予約制です】

助言者：ハローワーク金沢 難病患者就職サポーター 国田 直樹 氏

会 場：県リハセンター

### 4 難病カフェ

疾病を限定せず、難病の方々が思いを語り、交流できる場を設けています。

内 容：話し合い、学習会、軽スポーツ、手工芸等

日 時：毎月第2火曜日 13:00～16:00 【初回参加時のみ予約が必要です】

会 場：県リハセンター

★ 対象の方がいらっしゃいましたら、ぜひお勧めください。

★ また、秋以降に、難病・小児慢性特定疾病の医療講演会・相談会、同病者交流会を予定しております。

詳細が決まりましたら、ホームページにてお知らせいたします。

石川県難病相談・支援センターホームページ

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/nanbyou/>

QRコード





## 高次脳機能障害相談・支援センター事業

高次脳機能障害相談・支援センターでは、ご本人やご家族が安心して充実した生活を送ることができるよう、当事者や家族、支援機関等からの相談対応をはじめ、各種研修や教室等を開催しています。

### 1 講座【本人・家族のための高次脳機能障害講座】

ご本人やご家族が高次脳機能障害についての理解を深める教室であり、日々の悩みや思いを語り合う場です。  
(毎回講義の後、「患者と家族の会つばさ」の会員を交え座談会を行います。)

日 時	内 容 お よ び 講 師	会 場	対 象 者
7月12日(月) 13:30~15:30	「高次脳機能障害の理解と対応について」 講 師：県リハセンター職員	県リハセンター	高次脳機能障害のある方、家族
9月10日(金) 13:30~15:30	「利用できる社会資源について」 講 師：県リハセンター職員		
12月3日(金) 13:30~15:30	「就労について」 講 師：石川障害者職業センター職員		
2月22日(火) 13:30~15:30	「家族会の活動について」 講 師：高次脳機能障害患者と家族の会つばさ 会員		

### 2 就労者のつどい【わくワークの会】

就労されている高次脳機能障害者同士の交流の場です。職場で生じる悩みなどを語り合い、精神の安定を図りつつ就労の継続を目指します。※当事者を支援する方から当センターにご紹介ください。

日 時	内 容 お よ び 助 言 者	会 場	対 象 者
7月17日(土) 13:30~16:00	「仕事や生活上の悩みについて【講話・座談会】」 助言者：障害者就業・生活支援センター職員	県リハセンター	一般就労や就労継続支援A型に勤務されている方
12月5日(日) 13:30~16:00			

### 3 研修

高次脳機能障害者の支援に携わる方を対象に、高次脳機能障害に関する基礎的な知識を学び、対応方法を身に付けるための研修を開催します。

※下記研修に加え、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士対象の高次脳機能障害専門職研修を1~2月に開催予定です。内容につきましては、あらためてお知らせいたします。

回	日 時	内 容 お よ び 講 師	対 象 者
1	7月8日(木) 14:00~16:30	〈第1部〉 「高次脳機能障害の医学的知識」 講 師：(第1回) 県リハセンター職員(医師) (第2回) 恵寿総合病院 副病院長 川北 慎一郎氏(医師) (第3回) やわたメディカルセンター 診療部部长 池永 康規氏(医師)	支援者  (第1回) 石川中央地区 (第2回) 能登地区 (第3回) 加賀地区
2	9月3日(金) 14:00~16:30		
3	9月13日(月) 14:00~16:30		

### 4 生活支援教室

高次脳機能障害のある方が、当事者同士の交流や活動を通じて、自身の障害についての理解を深めるとともに、日常生活の自立や社会参加に向けて、必要な代替手段を獲得することを目標とした当事者向けの教室です。

※医療機関等から当センターにご紹介ください。

★ 上記日程は変更の可能性もあります。参加を希望される方は事前に当センターまでお問い合わせください。

石川県高次脳機能障害相談・支援センターホームページ

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/koujinou/>

QRコード



## 在宅支援型住宅リフォーム推進事業のご紹介

高齢者や障害のある方が身近に利用できる住宅改修の制度として、「介護保険法」による「住宅改修」と、「障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」を根拠とする「日常生活用具給付等事業」によるものがあります。その他に、県が実施する住宅改修の事業として「在宅支援型住宅リフォーム推進事業」もあるので、その内容を県厚生政策課からご紹介します。

この事業は、生活保護を受けている世帯、または住民税非課税世帯で、介護を要する状態にある高齢者や障害のある方が、ご自宅において安全で快適な生活を営むことができるよう、生活の自立を支援するために住宅を改修する経費に対して助成を行うものです。対象世帯や対象工事などは下記の通りです。制度の利用等につきましては、各市町の窓口にご相談ください。各市町の問い合わせ窓口等の詳細につきましては、下記の石川県厚生政策課のホームページ (<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/bariafree-reform.html>) にてご確認ください。

また、この事業を利用するにあたり、本人の身体特性に対応した住環境整備の技術的な相談支援については、県リハビリテーションセンターの相談・支援をご活用ください。センターではリハ専門職と建築の専門家がチームを組んで住宅改修の相談支援に対応しています。

事業名	高齢者自立支援型 住宅リフォーム推進事業	障害のある人にやさしい 住宅リフォーム推進事業									
対象世帯 ※いずれも、住民税課税世帯は除きます。	(1) 介護保険制度で要介護または要支援と認定された方のいる世帯 (2) 生活保護法で規定する介護扶助の対象者のいる世帯	(1) 身体障害者手帳2級以上の交付を受けた方のいる世帯(下肢、体幹または乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害(移動機能障害に限る)については3級以上) (2) 療育手帳Aの交付を受けた方のいる世帯 (3) 精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けた方のいる世帯									
対象工事 ※いずれも、既存の住宅を改修する場合に限ります。	介護保険法に基づく居宅介護住宅改修費支給制度において対象とする次の工事となります。 ● 手すりの取付け、段差の解消、滑りの防止および移動の円滑化等のための床または通路面の材料の変更、引き戸等への扉の取替え、洋式便器等への取替え ● 上記の住宅改修に付帯して必要となる住宅改修	● 手すりの取付け、段差の解消、滑り防止および移動の円滑化等のための床または通路面の材料の変更、引き戸等への扉の取替え、洋式便器等への取替え、床材のクッション素材への貼り替え、壁のクッション素材または防音効果のある素材への貼り替え、二重窓の設置、床材を汚れが拭き取りやすいものに貼り替え、その他障害者の在宅生活のために必要な工事 ● 上記の住宅改修に付帯して必要となる住宅改修									
助成額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象経費助成率</th> <th>助成限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活保護法による被保護世帯</td> <td>100%</td> <td>100万円</td> </tr> <tr> <td>住民税非課税世帯</td> <td>90%</td> <td>100万円</td> </tr> </tbody> </table>		区分	対象経費助成率	助成限度額	生活保護法による被保護世帯	100%	100万円	住民税非課税世帯	90%	100万円
区分	対象経費助成率	助成限度額									
生活保護法による被保護世帯	100%	100万円									
住民税非課税世帯	90%	100万円									



### ヘルプマークを知っていますか？

ヘルプマークは、難病や内部障害など援助や配慮が必要な方が、日常生活や災害時にそのことを周囲に知らせるマークです。マークを身につけた方を見かけたときは、ぜひ思いやりのある対応をお願いします。

※東京都が考案してJIS化され、全国で普及が進んでおり、石川県でも配布しています。

配布場所：県障害保健福祉課、各市町福祉課、県保健福祉センター、県リハビリテーションセンター 等

#### 問い合わせ先

石川県リハビリテーションセンター  
TEL (076) 266-2860 FAX (076) 266-2864  
E-mail [iprc@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:iprc@pref.ishikawa.lg.jp)  
URL <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/rihabiri>



難病相談・支援センター  
TEL (076) 266-2738 FAX (076) 266-2864  
E-mail [nanbyou@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:nanbyou@pref.ishikawa.lg.jp)  
URL <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/nanbyou/>



高次脳機能障害相談・支援センター  
TEL (076) 266-2188 FAX (076) 266-2864  
URL <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/koujinou/>



「相談は傾聴、親身、親切に」  
リハビリテーションセンターでは  
県民ニーズに応えるため、  
より質の高いサービスの提供を  
目指しています。

編集・発行

石川県リハビリテーションセンター  
〒920-0353 金沢市赤土町ニ13-1